

# 梅之木通信

## 【縄文住居をつくる会】

第27号 2021.10.17 発行

### 杉皮張りが順調に進んでいます

梅之木遺跡で作業をしても風が気持ちよく、山々の眺めがすばらしく爽快な気分になります。コロナ感染も下火になりつつありますが、梅之木遺跡に居る限り『どこの事やら?』という気がしてきます。長い期間外出を控えていた人もここでの解放感を味わえば、今までの閉塞感を一気に一掃できるのではないかと思います。作業はさておき、南アルプスから八ヶ岳まで一望できる環境を楽しみに遊びに来てください。



#### ❖ 上村市長が梅之木遺跡を見学

10月1日、北杜市の上村市長が梅之木遺跡に来られ、我々が建設した3号棟の中で一時間余りの時間を過ごしていかれました。日ごろの仲間うちでの会話と同様、みんなそれぞれ言いたい放題。

次から次へといろいろ言われて、市長の頭の中はきっとパニック状態だったに違いありません。ひとつでもふたつでも私たちが移住者の思いや考えが記憶の片隅に残っていればと思います。が・・・『来年、縄文遺跡に泊りに来ますから一緒に飲みましょう!』



との市長の公約実現のために、みんなで4号棟建設をすすめていきたいと思ひます。



#### ❁ 縄文土器の焼き物体験

野焼きでの縄文土器の作成体験が行われていました。

神奈川の高校生だそうですが、『卒業発表のために縄文の暮らしを調査している一環で縄文土器の作成体験をしに来た』とのことでした。

焚火のような方法でも焼き物ができることが驚きでしたが、土器についた煤などがまた模様になっていくのが新たな発見でした。

ここでも、また話し相手も見つけるとおじさんたちはなかなか離しません。相手をしてくれた

お嬢さんには感謝・感謝です。

後ろで心配そうに見守るお父さんの姿が印象的ですが、できあがった土器を手仕上りに満足そう

でした。元教師の意見や指導もあり卒業発表に向けて、多くの情報収集できれば充実した一日になったのではと思ひます。

#### ❁ 杉皮葺きがスピードアップ

まさに『経験が財産』。4号棟の杉皮葺きは驚異的なスピードで進み、

4日間の作業で8割程度まで完成してきました。

3号棟の時には右から進んだり左から進んだり、高さもそろわず斜めになったりしていましたが、今回は屋根の瓦のようにぴったりと揃っています。木舞の細かさにこだわった結果でもあります。杉皮葺きの方向を一方向からとし、木舞に取り付ける位置も調整して、とても綺麗に整然と揃っています。



骨組みだけの時も見ているだけで綺麗な骨格で

したが、杉皮が取り付けられた状態もまた、『このままにしておきたい』と思えるほどきれいな仕上がりになっています。この上に防水シートを被せて

その上からまた土を盛るのがもったいないような気がしてきます。



#### ❁ さっそくかわいいお客様

お弁当を持った親子が縄文住居体験。

男の子は『ラーメン屋さんごっこ』を始め、『看板を作って』と要望を出されましたが、子供の想像力は無限大です。

この縄文住居で、どのような想像を働かせるか、どのような夢を描くのか… 子供だけでなく大人も多くのロマンが語り合える場所になればと思ひます。

#### ❁ 八ヶ岳ダイズ21号（9月29日発行）

見開き2ページですが、梅之木遺跡でのわれわれの活動が紹介されています。みなとても良い顔で写っていますので、ぜひ書店で探して見てみてください。

気の早いメンバーは、12月に開催すべく今から縄文住居でのパーティーを企画し始めました。うまくいけば完成式となる予定ですが、間に合わなくても忘年会として実施することを予定しています。また、会報などでふるさと倶楽部の会員にもお知らせする予定ですので楽しみにしててください。